

平成 18 年度 基盤的研究等外部評価委員会 評価結果

基盤的研究部 トキシコゲノミクスプロジェクト

評価項目・判定基準	各委員の評点	平均						
①進捗度（成果） 一到達目標・業務計画を勘案して、当該年度における研究（事業）の進捗状況は十分か。十分な成果を上げているか。十分でない場合はどこに問題があったか。	5：極めて良好である。 4：十分に良好である。 3：概ね良好である。 2：やや不十分であり、努力を要する。 1：極めて不十分である。	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">5</td> </tr> </table>	4	4	4	4	5	5
4	4							
4	4							
5	5							
②計画の妥当性 一今後事業を進めていく上で問題点はないか、問題点がある場合には計画等の変更が必要か、その際にはどのように変更又は修正すべきか。	5：極めて妥当である。 4：十分に妥当である。 3：概ね妥当である。 2：やや妥当性を欠き、努力を要する。 1：妥当性を欠く。	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">4</td> </tr> </table>	4	4	4	4	4	4
4	4							
4	4							
4	4							
③事業の学術的・社会的意義 一事業の学術的・社会的意義がどの程度あるか。	5：非常にある。 4：かなりある。 3：ある程度ある。 2：あまりない。 1：ほとんどない。	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">5</td> </tr> </table>	3	4	4	5	5	5
3	4							
4	5							
5	5							
④継続能力 一研究者の構成や施設の設備から見て、事業目的を達成することが可能か、変更等すべき部分がある場合には、どのように変更すべきか。	5：非常に高い。 4：高い。 3：平均的である。 2：低い。 1：ほとんどない。	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">-</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">-</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">-</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">-</td> </tr> </table>	-	-	-	-	-	-
-	-							
-	-							
-	-							
⑤成果の普及 一学術誌への発表、学会での講演、発表など成果の公表・普及状況や特許の出願及び取得状況等はどうか。	5：積極的に取り組んでいる。 4：十分な取り組みが見られる。 3：概ね妥当である。 2：やや不十分であり、努力を要する。 1：極めて不十分である。	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">5</td> </tr> </table>	3	3	4	4	5	5
3	3							
4	4							
5	5							
総合評価（5点満点） 【①～⑤の平均点】		4.17						

平成 18 年度 基盤的研究等外部評価委員会 評価結果

基盤的研究部 創薬プロテオミクスプロジェクト

評価項目・判定基準	各委員の評点	平均	
①進捗度（成果） －到達目標・業務計画を勘案して、当該年度における研究（事業）の進捗状況は十分か。十分な成果を上げているか。十分でない場合はどこに問題があったか。	5：極めて良好である。 4：十分に良好である。 3：概ね良好である。	3 3	4.17
	2：やや不十分であり、努力を要する。 1：極めて不十分である。	4 5	
		5 5	
②計画の妥当性 －今後事業を進めていく上で問題点はないか、問題点がある場合には計画等の変更が必要か、その際にはどのように変更又は修正すべきか。	5：極めて妥当である。 4：十分に妥当である。 3：概ね妥当である。	3 4	4.00
	2：やや妥当性を欠き、努力を要する。 1：妥当性を欠く。	4 4	
		4 5	
③事業の学術的・社会的意義 －事業の学術的・社会的意義がどの程度あるか。	5：非常にある。 4：かなりある。 3：ある程度ある。	4 4	4.33
	2：あまりない。 1：ほとんどない。	4 4	
		5 5	
④継続能力 －研究者の構成や施設の設備から見て、事業目的を達成することが可能か、変更等すべき部分がある場合には、どのように変更すべきか。	5：非常に高い。 4：高い。 3：平均的である。	4 4	4.17
	2：低い。 1：ほとんどない。	4 4	
		4 5	
⑤成果の普及 －学術誌への発表、学会での講演、発表など成果の公表・普及状況や特許の出願及び取得状況等はどうか。	5：積極的に取り組んでいる。 4：十分な取り組みが見られる。 3：概ね妥当である。	3 3	4.00
	2：やや不十分であり、努力を要する。 1：極めて不十分である。	4 4	
		5 5	
総合評価（5点満点） 【①～⑤の平均点】			4.13

平成 18 年度 基盤的研究等外部評価委員会 評価結果

基盤的研究部 代謝シグナルプロジェクト

評価項目・判定基準		各委員の評点		平均
①進捗度（成果） ー到達目標・業務計画を勘案して、当該年度における研究（事業）の進捗状況は十分か。十分な成果を上げているか。十分でない場合はどこに問題があったか。	5：極めて良好である。	3	3	3.17
	4：十分に良好である。	3	3	
	3：概ね良好である。 2：やや不十分であり、努力を要する。 1：極めて不十分である。	3	4	
②計画の妥当性 ー今後事業を進めていく上で問題点はないか、問題点がある場合には計画等の変更が必要か、その際にはどのように変更又は修正すべきか。	5：極めて妥当である。	2	3	3.33
	4：十分に妥当である。	3	4	
	3：概ね妥当である。 2：やや妥当性を欠き、努力を要する。 1：妥当性を欠く。	4	4	
③事業の学術的・社会的意義 ー事業の学術的・社会的意義がどの程度あるか。	5：非常にある。	3	3	3.33
	4：かなりある。	3	3	
	3：ある程度ある。 2：あまりない。 1：ほとんどない。	4	4	
④継続能力 ー研究者の構成や施設の設備から見て、事業目的を達成することが可能か、変更等すべき部分がある場合には、どのように変更すべきか。	5：非常に高い。	3	3	3.67
	4：高い。	4	4	
	3：平均的である。 2：低い。 1：ほとんどない。	4	4	
⑤成果の普及 ー学術誌への発表、学会での講演、発表など成果の公表・普及状況や特許の出願及び取得状況等はどうか。	5：積極的に取り組んでいる。	2	3	3.17
	4：十分な取り組みが見られる。	3	3	
	3：概ね妥当である。 2：やや不十分であり、努力を要する。 1：極めて不十分である。	3	5	
総合評価（5点満点） 【①～⑤の平均点】				3.33

平成 18 年度 基盤的研究等外部評価委員会 評価結果

基盤的研究部 遺伝子導入制御プロジェクト

評価項目・判定基準		各委員の評点		平均
①進捗度（成果） ー到達目標・業務計画を勘案して、当該年度における研究（事業）の進捗状況は十分か。十分な成果を上げているか。十分でない場合はどこに問題があったか。	5：極めて良好である。	3	4	4.50
	4：十分に良好である。	5	5	
	3：概ね良好である。			
	2：やや不十分であり、努力を要する。	5	5	
	1：極めて不十分である。			
②計画の妥当性 ー今後事業を進めていく上で問題点はないか、問題点がある場合には計画等の変更が必要か、その際にはどのように変更又は修正すべきか。	5：極めて妥当である。	4	4	4.17
	4：十分に妥当である。	4	4	
	3：概ね妥当である。			
	2：やや妥当性を欠き、努力を要する。	4	5	
	1：妥当性を欠く。			
③事業の学術的・社会的意義 ー事業の学術的・社会的意義がどの程度あるか。	5：非常にある。	3	4	4.50
	4：かなりある。	5	5	
	3：ある程度ある。			
	2：あまりない。	5	5	
	1：ほとんどない。			
④継続能力 ー研究者の構成や施設の設備から見て、事業目的を達成することが可能か、変更等すべき部分がある場合には、どのように変更すべきか。	5：非常に高い。	4	4	4.50
	4：高い。	4	5	
	3：平均的である。			
	2：低い。	5	5	
	1：ほとんどない。			
⑤成果の普及 ー学術誌への発表、学会での講演、発表など成果の公表・普及状況や特許の出願及び取得状況等はどうか。	5：積極的に取り組んでいる。	4	4	4.50
	4：十分な取り組みが見られる。	4	5	
	3：概ね妥当である。			
	2：やや不十分であり、努力を要する。	5	5	
	1：極めて不十分である。			
総合評価（5点満点） 【①～⑤の平均点】				4.43

平成 18 年度 基盤的研究等外部評価委員会 評価結果

基盤的研究部 免疫細胞制御プロジェクト

評価項目・判定基準		各委員の評点		平均
①進捗度（成果） ー到達目標・業務計画を勘案して、当該年度における研究（事業）の進捗状況は十分か。十分な成果を上げているか。十分でない場合はどこに問題があったか。	5：極めて良好である。	2	3	3.33
	4：十分に良好である。	3	4	
	3：概ね良好である。 2：やや不十分であり、努力を要する。 1：極めて不十分である。	4	4	
②計画の妥当性 ー今後事業を進めていく上で問題点はないか、問題点がある場合には計画等の変更が必要か、その際にはどのように変更又は修正すべきか。	5：極めて妥当である。	2	3	3.33
	4：十分に妥当である。	3	4	
	3：概ね妥当である。 2：やや妥当性を欠き、努力を要する。 1：妥当性を欠く。	4	4	
③事業の学術的・社会的意義 ー事業の学術的・社会的意義がどの程度あるか。	5：非常にある。	3	3	3.83
	4：かなりある。	3	4	
	3：ある程度ある。 2：あまりない。 1：ほとんどない。	5	5	
④継続能力 ー研究者の構成や施設の設備から見て、事業目的を達成することが可能か、変更等すべき部分がある場合には、どのように変更すべきか。	5：非常に高い。	2	3	3.50
	4：高い。	4	4	
	3：平均的である。 2：低い。 1：ほとんどない。	4	4	
⑤成果の普及 ー学術誌への発表、学会での講演、発表など成果の公表・普及状況や特許の出願及び取得状況等はどうか。	5：積極的に取り組んでいる。	2	2	2.50
	4：十分な取り組みが見られる。	2	3	
	3：概ね妥当である。 2：やや不十分であり、努力を要する。 1：極めて不十分である。	3	3	
総合評価（5点満点） 【①～⑤の平均点】				3.30

平成 18 年度 基盤的研究等外部評価委員会 評価結果

基盤的研究部 感染制御プロジェクト

評価項目・判定基準		各委員の評点		平均
①進捗度（成果） ー到達目標・業務計画を勘案して、当該年度における研究（事業）の進捗状況は十分か。十分な成果を上げているか。十分でない場合はどこに問題があったか。	5：極めて良好である。	4	4	4.67
	4：十分に良好である。	5	5	
	3：概ね良好である。 2：やや不十分であり、努力を要する。 1：極めて不十分である。	5	5	
②計画の妥当性 ー今後事業を進めていく上で問題点はないか、問題点がある場合には計画等の変更が必要か、その際にはどのように変更又は修正すべきか。	5：極めて妥当である。	4	4	4.00
	4：十分に妥当である。	4	4	
	3：概ね妥当である。 2：やや妥当性を欠き、努力を要する。 1：妥当性を欠く。	4	4	
③事業の学術的・社会的意義 ー事業の学術的・社会的意義がどの程度あるか。	5：非常にある。	4	5	4.83
	4：かなりある。	5	5	
	3：ある程度ある。 2：あまりない。 1：ほとんどない。	5	5	
④継続能力 ー研究者の構成や施設の設備から見て、事業目的を達成することが可能か、変更等すべき部分がある場合には、どのように変更すべきか。	5：非常に高い。	4	4	4.17
	4：高い。	4	4	
	3：平均的である。 2：低い。 1：ほとんどない。	4	5	
⑤成果の普及 ー学術誌への発表、学会での講演、発表など成果の公表・普及状況や特許の出願及び取得状況等はどうか。	5：積極的に取り組んでいる。	3	4	4.17
	4：十分な取り組みが見られる。	4	4	
	3：概ね妥当である。 2：やや不十分であり、努力を要する。 1：極めて不十分である。	5	5	
総合評価（5点満点） 【①～⑤の平均点】				4.37

平成 18 年度 基盤的研究等外部評価委員会 評価結果

基盤的研究部 免疫シグナルプロジェクト

評価項目・判定基準		各委員の評点		平均
①進捗度（成果） －到達目標・業務計画を勘案して、当該年度における研究（事業）の進捗状況は十分か。十分な成果を上げているか。十分でない場合はどこに問題があったか。	5：極めて良好である。	3	3	4.00
	4：十分に良好である。	4	4	
	3：概ね良好である。 2：やや不十分であり、努力を要する。 1：極めて不十分である。	5	5	
②計画の妥当性 －今後事業を進めていく上で問題点はないか、問題点がある場合には計画等の変更が必要か、その際にはどのように変更又は修正すべきか。	5：極めて妥当である。	3	3	3.67
	4：十分に妥当である。	4	4	
	3：概ね妥当である。 2：やや妥当性を欠き、努力を要する。 1：妥当性を欠く。	4	4	
③事業の学術的・社会的意義 －事業の学術的・社会的意義がどの程度あるか。	5：非常にある。	3	4	4.17
	4：かなりある。	4	4	
	3：ある程度ある。 2：あまりない。 1：ほとんどない。	5	5	
④継続能力 －研究者の構成や施設の設備から見て、事業目的を達成することが可能か、変更等すべき部分がある場合には、どのように変更すべきか。	5：非常に高い。	3	4	4.17
	4：高い。	4	4	
	3：平均的である。 2：低い。 1：ほとんどない。	5	5	
⑤成果の普及 －学術誌への発表、学会での講演、発表など成果の公表・普及状況や特許の出願及び取得状況等はどうか。	5：積極的に取り組んでいる。	4	4	4.33
	4：十分な取り組みが見られる。	4	4	
	3：概ね妥当である。 2：やや不十分であり、努力を要する。 1：極めて不十分である。	5	5	
総合評価（5点満点） 【①～⑤の平均点】				4.07

平成 18 年度 基盤的研究等外部評価委員会 評価結果

生物資源研究部 細胞資源研究室

評価項目・判定基準		委員の評点		平均
1. 生物資源業務に係る業績	50 : 極めて優れている。 40 : 優れている。 30 : 概ね妥当である。 20 : 劣っている。 10 : 極めて劣っている。	30	40	42.14
		45	45	
		45	45	
		45		
		45		
2. 生物資源研究に係る業績	①進捗度 (成果) 一 到達目標・業務計画を勘案して、当該年度における研究 (事業) の進捗状況は十分か。十分な成果を上げているか。十分でない場合はどこに問題があったか。	3	3	3.71
		4	4	
		4	4	
		4		
		4		
	②計画の妥当性 一 今後事業を進めていく上で問題点はないか、問題点がある場合には計画等の変更が必要か、その際にはどのように変更又は修正すべきか。	3	3	3.71
		4	4	
		4	4	
		4		
		4		
	③事業の学術的・社会的意義 一 事業の学術的・社会的意義がどの程度あるか。	3	4	4.07
		4	4	
		4	4.5	
		5		
		5		
	④継続能力 一 研究者の構成や施設の設備から見て、事業目的を達成することが可能か、変更等すべき部分がある場合には、どのように変更すべきか。	3	3	3.71
		3	4	
		4	4	
		5		
		5		
⑤成果の普及 一 学術誌への発表、学会での講演、発表など成果の公表・普及状況や特許の出願及び取得状況等はどうか。	2	3	3.36	
	3	3.5		
	4	4		
	4			
	4			
総合評価 (100点満点) (【1. 生物資源業務に係る業績の評点】と 【(2. 生物資源研究に係る業績 (①~⑤) の評点) × 2】の合計)				79.29

平成 18 年度 基盤的研究等外部評価委員会 評価結果

生物資源研究部 遺伝子資源研究室

評価項目・判定基準		委員の評点		平均	
1. 生物資源業務に係る業績	50 : 極めて優れている。 40 : 優れている。 30 : 概ね妥当である。 20 : 劣っている。 10 : 極めて劣っている。	25	25	31.43	
		30	30		
		35	35		
		40			
2. 生物資源研究に係る業績	①進捗度（成果） 一到達目標・業務計画を勘案して、当該年度における研究（事業）の進捗状況は十分か。十分な成果を上げているか。十分でない場合はどこに問題があったか。	5 : 極めて良好である。 4 : 十分に良好である。 3 : 概ね良好である。 2 : やや不十分であり、努力を要する。 1 : 極めて不十分である。	2	2	2.86
		3	3		
		3	3		
		4			
	②計画の妥当性 一今後事業を進めていく上で問題点はないか、問題点がある場合には計画等の変更が必要か、その際にはどのように変更又は修正すべきか。	5 : 極めて妥当である。 4 : 十分に妥当である。 3 : 概ね妥当である。 2 : やや妥当性を欠き、努力を要する。 1 : 妥当性を欠く。	2	2	2.57
		2	2		
		3	3		
		4			
	③事業の学術的・社会的意義 一事業の学術的・社会的意義がどの程度あるか。	5 : 非常にある。 4 : かなりある。 3 : ある程度ある。 2 : あまりない。 1 : ほとんどない。	3	3	3.14
		3	3		
		3	3		
		4			
	④継続能力 一研究者の構成や施設の設備から見て、事業目的を達成することが可能か、変更等すべき部分がある場合には、どのように変更すべきか。	5 : 非常に高い。 4 : 高い。 3 : 平均的である。 2 : 低い。 1 : ほとんどない。	2	3	2.86
		3	3		
		3	3		
		3			
⑤成果の普及 一学術誌への発表、学会での講演、発表など成果の公表・普及状況や特許の出願及び取得状況等はどうか。	5 : 積極的に取り組んでいる。 4 : 十分な取り組みが見られる。 3 : 概ね妥当である。 2 : やや不十分であり、努力を要する。 1 : 極めて不十分である。	2	2	2.71	
	3	3			
	3	3			
	3				
総合評価（100点満点） （【1. 生物資源業務に係る業績の評点】と 【（2. 生物資源研究に係る業績（①～⑤）の評点）×2】の合計）				59.71	

平成 18 年度 基盤的研究等外部評価委員会 評価結果

生物資源研究部 実験動物開発研究室

評価項目・判定基準		委員の評点		平均
1. 生物資源業務に係る業績	50 : 極めて優れている。 40 : 優れている。 30 : 概ね妥当である。 20 : 劣っている。 10 : 極めて劣っている。	35	35	40.00
		40	40	
		40	45	
		45		
2. 生物資源研究に係る業績	①進捗度(成果) 一到達目標・業務計画を勘案して、当該年度における研究(事業)の進捗状況は十分か。十分な成果を上げているか。十分でない場合はどこに問題があったか。	5	5	4.14
		4	4	
		3	3	
		2	2	
		1	1	
	②計画の妥当性 一今後事業を進めていく上で問題点はないか、問題点がある場合には計画等の変更が必要か、その際にはどのように変更又は修正すべきか。	5	5	3.86
		4	4	
		3	3	
		2	2	
		1	1	
	③事業の学術的・社会的意義 一事業の学術的・社会的意義がどの程度あるか。	5	5	4.29
		4	4	
		3	3	
		2	2	
		1	1	
	④継続能力 一研究者の構成や施設の設備から見て、事業目的を達成することが可能か、変更等すべき部分がある場合には、どのように変更すべきか。	5	5	3.86
		4	4	
		3	3	
		2	2	
		1	1	
⑤成果の普及 一学術誌への発表、学会での講演、発表など成果の公表・普及状況や特許の出願及び取得状況等はどうか。	5	5	4.14	
	4	4		
	3	3		
	2	2		
	1	1		
総合評価(100点満点) (【1. 生物資源業務に係る業績の評点】と 【(2. 生物資源研究に係る業績(①~⑤)の評点)×2】の合計)				80.57

平成 18 年度 基盤的研究等外部評価委員会 評価結果

薬用植物資源研究センター

評価項目・判定基準		委員の評点		平均	
1. 生物資源業務に係る業績		35	35	42.14	
50 : 極めて優れている。		40	45		
40 : 優れている。		45	45		
30 : 概ね妥当である。		50			
20 : 劣っている。 10 : 極めて劣っている。					
2. 生物資源研究に係る業績	①進捗度 (成果) 一 到達目標・業務計画を勘案して、当該年度における研究 (事業) の進捗状況は十分か。十分な成果を上げているか。十分でない場合はどこに問題があったか。	5 : 極めて良好である。 4 : 十分に良好である。 3 : 概ね良好である。 2 : やや不十分であり、努力を要する。 1 : 極めて不十分である。	3	4	3.86
			4	4	
			4	4	
			4		
	②計画の妥当性 一 今後事業を進めていく上で問題点はないか、問題点がある場合には計画等の変更が必要か、その際にはどのように変更又は修正すべきか。	5 : 極めて妥当である。 4 : 十分に妥当である。 3 : 概ね妥当である。 2 : やや妥当性を欠き、努力を要する。 1 : 妥当性を欠く。	3	3	3.57
			3	4	
			4	4	
			4		
	③事業の学術的・社会的意義 一 事業の学術的・社会的意義がどの程度あるか。	5 : 非常にある。 4 : かなりある。 3 : ある程度ある。 2 : あまりない。 1 : ほとんどない。	3	3	3.86
		4	4		
		4	4		
		5			
④継続能力 一 研究者の構成や施設の設備から見て、事業目的を達成することが可能か、変更等すべき部分がある場合には、どのように変更すべきか。	5 : 非常に高い。 4 : 高い。 3 : 平均的である。 2 : 低い。 1 : ほとんどない。	3	4	4.00	
		4	4		
		4	4		
		5			
⑤成果の普及 一 学術誌への発表、学会での講演、発表など成果の公表・普及状況や特許の出願及び取得状況等はどうか。	5 : 積極的に取り組んでいる。 4 : 十分な取り組みが見られる。 3 : 概ね妥当である。 2 : やや不十分であり、努力を要する。 1 : 極めて不十分である。	3	3	3.57	
		3	4		
		4	4		
		4			
総合評価 (100点満点) (【1. 生物資源業務に係る業績の評点】と 【(2. 生物資源研究に係る業績 (①~⑤) の評点) × 2】の合計)				79.86	

平成 18 年度 基盤的研究等外部評価委員会 評価結果

霊長類医科学研究センター

評価項目・判定基準		委員の評点		平均
1. 生物資源業務に係る業績	50 : 極めて優れている。 40 : 優れている。 30 : 概ね妥当である。 20 : 劣っている。 10 : 極めて劣っている。	40	40	43.57
		40	45	
		45	45	
		50		
2. 生物資源研究に係る業績	①進捗度 (成果) 一到達目標・業務計画を勘案して、当該年度における研究 (事業) の進捗状況は十分か。十分な成果を上げているか。十分でない場合はどこに問題があったか。	5	4	4.29
		4	4	
		4	5	
		5		
	②計画の妥当性 一今後事業を進めていく上で問題点はないか、問題点がある場合には計画等の変更が必要か、その際にはどのように変更又は修正すべきか。	5	4	4.00
		4	4	
		4	4	
		5		
	③事業の学術的・社会的意義 一事業の学術的・社会的意義がどの程度あるか。	5	4	4.71
		5	5	
		5	5	
		5		
④継続能力 一研究者の構成や施設の設備から見て、事業目的を達成することが可能か、変更等すべき部分がある場合には、どのように変更すべきか。	5	4	4.43	
	4	4		
	5	5		
	5			
⑤成果の普及 一学術誌への発表、学会での講演、発表など成果の公表・普及状況や特許の出願及び取得状況等はどうか。	5	4	4.14	
	4	4		
	4	4		
	5			
総合評価 (100点満点) (【1. 生物資源業務に係る業績の評点】と 【(2. 生物資源研究に係る業績 (①~⑤) の評点) × 2】の合計)				86.71